

一般質問通告表

令和元年第2回始良市議会定例会（6月25日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6. 岩下陽太郎	1. 新・放課後子ども総合プランについて	<p>令和元年度から向こう5年間を対象とする「新・放課後子ども総合プラン」が平成30年9月に策定され、各都道府県知事及び各都道府県教育委員会教育長等へ通知された。</p> <p>(1)この通知内容はこういったものか。また、始良市にはどのように伝わり、どのように対処する予定なのか、具体的に示せ。</p> <p>(2)始良市の取組は保健福祉部及び教育部でどのように調整・検討し、事業の実施がなされているのか。また、始良市の放課後総合プランへの取組について、市長と教育長のそれぞれの見解を問う。</p>	市長 教育長
7. 堂森 忠夫	1. 加治木地区の活性化について	<p>国はまち・ひと・しごと創生を長期ビジョンに掲げているなかで、現状は少子高齢化などの課題を抱えており、地域の衰退が危惧される。</p> <p>本市では3町が合併し、活気が出た地区と希望が薄れた地区の街や自治会からは、大小、異なった不満の声が多い。その不満の声にどのように対応して地域活性化に取り組むのか。また、具体的な事業として次の事業に取り組めないか問う。</p> <p>(1)京セラ研修予定地として、市が購入し、現在管理している用地の有効活用事業に取り組めないか。</p> <p>(2)加治木港町地区の飲食街は、合併後、年々人通りが少なくなり、店舗経営が厳しい状況である。新たな人々が行き交う流れをつくるためのまちづく</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 人材を生かした更なる事業の取組について</p>	<p>り事業を今以上に取組めないか。</p> <p>(3) 始良警察署の跡地利用について、具体的な土地有効活用の事業に着手すべきであるが、現状での取組状況を問う。</p> <p>(4) 令和時代のまちづくりは、少子高齢化を意識した複合庁舎建設が重要課題と捉える。年々寂れて行く方向にある加治木地区では、令和時代を生きる若者に元気と希望を与えることが可能な、新たな取組として産官学金労言が連携した事業団体を加治木庁舎内に設置して事業促進を図れないか。</p> <p>少子高齢化時代の現在は、一人ひとりが貴重な人財である。新たな令和時代の平和と繁栄のためには人財を活かし合うひとづくりが求められると察するので、次の事業に取り組めないか問う。</p> <p>(1) 現在、市の職員はイオンの店内で接客研修に励んでいるようだが、今後は、農林業の研修など幅広い角度から定期的な研修の実施を図れないか。</p> <p>(2) 始良市の未来を拓く若者たちの中では、引きこもりや不登校が多いと聞くが、この課題等に愛情を注ぎ、市民全体のノウハウを結集する団体を中心にして、若者たちのひとづくり育成事業を図れないか。</p> <p>(3) しごとづくり事業を促進することが、始良市の今後の繁栄につながるが、新たな雇用の場を拓くために異業種交流会など幅広い角度から対応が可能な仕組みを構築できないか。</p> <p>(4) 元気な高齢者が高齢者を支える自治会が多くなりつつあるが、各地域の独居高齢者は、食事の準備が悩みのひとつでもある。空き家を活用した地域</p>	<p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>コミュニティ農福食堂などの事業を図れないか。</p>	
8. 東馬場 弘	<p>1. 自治会防犯灯維持管理について</p> <p>2. 高齢者の交通安全確保について</p> <p>3. ドライブレコーダー設置について</p>	<p>(1) 当初予算で自治会防犯灯LEDの設置費補助事業が可決された。このことによる各自治会のLED化への切替えの申請状況を問う。</p> <p>(2) LED化により電気料金や器具の節約などを図ろうとする自治会もあれば、逆にLED化の設置をしたくても自治会員が少なく予算的になかなか厳しい自治会もある。このような設置の厳しい自治会には電気料金の補助を取り入れるべきと思うがどうか問う。</p> <p>最近、高齢者による人命を奪う交通事故などが多発している。高齢者の交通安全確保について、他の自治体では交通安全教室、講習会、高齢者訪問、運転免許証返納支援、交通安全シニアリーダーの養成、街中や施設でのPR・見守り活動など対策をとっているが、本市の取組の現状や対策を問う。</p> <p>(1) 最近、ドライブレコーダーを設置する車が増えている。当て逃げや追突事故、あおり運転などのトラブルが起きた場면을記録できるため、事件・事故処理などの証拠として大いに役立つと考えられる。このようにドライブレコーダーが安全・安心で住みよい始良市の実現に資することを考えれば、ドライブレコーダーを購入し、車に設置した方を対象に購入費や設置費の一部を補助出来ないか問う。</p> <p>(2) 本市も職員安全運転意識及び運転マナーの向上や交通事故発生時におけ</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>る責任の明確化および処理の迅速化のため、また、公用車が交通事故や犯罪などの画像情報を記録することで、地域の防犯に役立つと考えるため、本市公用車にもドライブレコーダーを設置すべきであるが、現状と対策を問う。</p>	
9. 竹下日出志	1. 食品ロス削減推進について	<p>まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の削減をめざす議員立法「食品ロス削減推進法」が5月24日、全会一致で成立した。同法は、政府や自治体、企業の責務や消費者の役割を定め、「国民運動」として問題解決に取り組むよう求めている。未利用食品を福祉施設や災害被災地などに提供するフードバンク活動への支援なども法律に盛り込まれ、関係者から喜びと期待の声が上がっている。</p> <p>同法は政府に対し、食品ロス削減推進の基本方針を定めることを義務付け、都道府県と市町村に削減推進計画を策定するよう努力義務を課す。</p> <p>企業は、国や自治体の施策に協力し、消費者も食品の買い方を工夫することなどで、自主的に削減に取り組むよう求めている。</p> <p>(1) 本市では、食品ロス削減推進計画をどのように策定する考えか。</p> <p>(2) 食品ロス削減に関する理解と関心を深めるために、毎年10月を食品ロス削減月間とする規定も設けられた。本市では、10月30日を食品ロス削減の日として制定する考えはないか。</p> <p>(3) SDGs（国連で採択された持続可能な開発目標）に掲げられる食品ロス廃棄の半減と、未利用食品の福祉的活用で、「もったいない」を「ありがと</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. うそ電話詐欺被害防止について	<p>う」に変えるため福祉施設等と連携する考えはないか。</p> <p>(1) 大阪府警は特殊詐欺対策として、全ての警察官・職員約2万3千人に、固定電話の通話内容を自動的に録音する機器の設置を呼びかけている。</p> <p>メーカーと共同開発した特注品で、効果を検証した上で府民の購入も促している。府警によると、警察職員に録音機設置を呼び掛けるのは全国で初めてである。</p> <p>「会話内容が自動録音されます。」録音機を設置した電話では呼び出し音が鳴る前に約10秒間の警告メッセージが相手方に流れる。詐欺グループの「かけ子」に警戒させて、抑止効果を狙っており、一般への販売も予定している。</p> <p>本市でも、急増する詐欺電話から高齢者を守るため「自動通話録音機」の無償貸出しを実施する考えはないか。</p> <p>(2) 埼玉県三郷市では、市全体で振り込め詐欺被害防止や被害者を支援するための必要事項を定め、安心かつ安全な生活の確保に取り組めるよう、条例を制定している。</p> <p>本市でも、振り込め詐欺等の被害防止に関する条例を制定する考えはないか。</p>	市 長 教育長
	3. ひきこもり対策について	<p>内閣府が、中高年層を対象に初めて実施したひきこもりに関する実態調査結果を今年3月に公表した。半年以上、家族以外と交流せず自宅にいる40歳～64歳の大人のひきこもり状態の人は、推計約61万人である。約61万人のうち7割以上が男性で、ひきこもり期間が7年以上の人が全体の46.7パーセントに</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>上り、20年超は19.1パーセント。30年超は6.4パーセントを数え、長期化が明るみになった。きっかけは「退職」が最も多く、「人間関係がうまくいかなかった」「病気」などが続いている。</p> <p>一方、家の生計を立てているのは「父母」が34.1パーセントに上り、ひきこもりの長期化、高齢化の影響により、80代の親が50代の子を経済的に支える「8050問題」の深刻さが裏付けられた。</p> <p>本市では、ひきこもり相談窓口や「8050問題」をどのように考えているか。</p>	
10. 新福 愛子	1. 命をつなぎ、子どもを育むミルク事業	<p>(1) 平成28年第3回定例会一般質問において、母親が病気などにより母乳を与えることができない乳児・多胎児等への子育て支援の一環として、粉ミルクに対する助成を実施する自治体を紹介し、きめ細やかな切れ目のない安心の子育て支援策として本市での取組について考えを質した。</p> <p>中でも母乳を介する母子感染を防ぐため、ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）等の抗体陽性の妊婦から生まれた乳児の粉ミルクへの助成を要請したが、「さらに情報収集に努め、調査・研究を行っていく」との答弁であった。</p> <p>鹿児島県は今年度より、県内に住所を有し、①HTLV-1等の抗体が陽性である妊婦の方から生まれた乳児の保護者、②平成31年4月1日以降に生まれた乳児の保護者、の2つの要件を満たす方に、粉ミルク代・乳児一人につき2万4千円を一括助成する「鹿児島県HTLV-1等母乳を介する母</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 全天候型の子ども館設置に向けた取組</p>	<p>子感染対策推進事業」を開始した。鹿児島市・霧島市・南さつま市のように市単独で助成事業を行っている自治体もあり、県と市の両方からの助成が当事者に大変喜ばれている。</p> <p>本市にも対象者がおられることから、あらためて粉ミルクへの助成に対する考えを問う。</p> <p>(2) 常温で保存でき、すぐに飲むことができる液体ミルクを災害時の乳幼児と妊産婦への支援として、備蓄品に導入する自治体が増えている。</p> <p>本市における災害時の備蓄品に対する男女共同参画の視点に立った考え方と、液体ミルク導入の検討を問う。</p> <p>本市には多くの子育て世代が生まれ、安心の子育て支援策への多様なニーズが高まっている。</p> <p>施政方針で示された全天候型の子ども館設置には、子どもたちや祖父母も含む保護者等の当事者の声や要望等が反映され、多くの市民の誇りになる子ども館を期待する。</p> <p>(1) 設置に向けた当事者との意見交換や庁内検討の進捗状況を問う。</p> <p>(2) 全国には官民一体型や民間の施設もあり、体育館・遊戯室や図書館、男女共同参画の視点に立った授乳・調乳室やティーサロン、男性用トイレへのおむつ替えシートの設置など特色ある施設が人気となっている。本市では、どのような視座をもった施設を検討しているのかを問う。</p> <p>(3) 来年の東京オリンピックから正式種目となったボルダリングを設置することで、親子で楽しめる施設として好評を博している自治体の施設もある。</p>	<p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 婚姻届を祝福する本市の取組</p>	<p>本市でも検討できないかを問う。</p> <p>平成から令和に変わる5月1日は大安と重なり、改元の日を記念日にしようとする婚姻届のラッシュが見込まれた。大型連休中ながら全国の多くの自治体が特別窓口を設置し、臨時開庁するなどの臨戦態勢で臨み、そのあたたかな画像がニュース等で流れた。人生の門出を真心で祝う自治体の姿勢にも希望を感じた。</p> <p>非婚・晩婚化が進む中、令和元年や来年2020年2月2日など、結婚（婚姻届）を考えている人の背中を押す機会にもなっているという。</p> <p>(1) 本市での5月1日の対応はどのようなものであったか。</p> <p>(2) 本市でも婚姻届に対する特別窓口の設置を検討できないかを問う。</p>	<p>市 長</p>